

令和7年度 北海道中学校体育大会 サッカー大会における熱中症防止対策 及び競技進行が困難な場合における代表チームの選出方法について

北海道中学校体育連盟事務局

【全競技に関わる熱中症防止対策】

- ・各競技における基本的な熱中症防止対策については、「北海道中学校体育大会における熱中症防止対策」（当連盟HPの「規約・お願い・連絡事項」のページに掲載）に基づき、大会運営を行う。
- ・会場の暑さ指数計において、暑さ指数（WBGT）が31℃（※気温と同じ単位であるが、気温だけではなく、気温・湿度・日射・輻射を総合した指標）に近づいたり、31℃を超えたりした場合には、会場の換気や観戦者の入場制限（屋内競技のみ）、大会の中断、競技日程の変更などの措置を検討する。
- ・前日の17時に気象庁より発表される「熱中症特別警戒アラート」（※「熱中症警戒アラート」とは異なる）が発令された場合には、その日の大会の中止を検討する。
- ・会期中に試合やレース等の全日程を終了することができなかった場合には、各競技の基準に基づき、全国中学校体育大会の北海道代表選手及びチームを選定する。

【サッカー大会に関わる熱中症防止対策】

○ 基本的な対策

● 競技が進行できない場合の代表チームの選出方法

ともに別紙参照

令和7年度 北海道中学校体育大会 北海道中学校サッカー大会 における熱中症等対策について

- ◇ 監督会議の際に熱中症対策についてアナウンスする。
- ◇ 会場本部に運営者用・緊急時用の冷却用氷・スポーツドリンク・経口補水液を用意する。
- ◇ 観戦者のために、飲料を購入できる環境(売店や自動販売機)を整える。
- ◇ 熱中症対応が可能な緊急病院を案内できるよう準備する。
- ◇ WBGT の値に応じて、飲水タイム・クーリングブレイクの設定をする。
飲水タイム…前・後半の途中(20 分程度経過時)に水分補給のための時間を設ける(1分程度)
クーリングブレイク…前・後半の途中(20 分程度経過時)に日陰での休息のための時間を設ける(3分程度)
- ◇ 選手の再出場を認め、出場選手への過度な負担を和らげ、体調に異変がある場合のチームでの確認をしやすい環境をつくる。
- ◇ ベンチを含む十分なスペースにテント等を設置し、日射を遮る。
- ◇ 緊急時には、隣接施設にて対応を行う
- ◇ 会場ごとに WBGT 計を110cm の高さに設置し、1試合につき4回の計測を実施する。

①マッチミーティング時に計測 → 運営担当者、審判団、両チーム指導者で共有

31≦WBGT… 延期し、対策を検討する

28≦WBGT<31… クーリングブレイク設定

25≦WBGT<28… 飲水タイム設定

②試合開始 10 分前に計測 → 運営担当者、審判団、両チーム指導者で共有

31≦WBGT… 延期し、対策を検討する

28≦WBGT<31… クーリングブレイク設定 ⇒ 前半開始

25≦WBGT<28… 飲水タイム設定 ⇒ 前半開始

③ハーフタイムに計測 → 運営担当者、審判団、両チーム指導者で共有

31≦WBGT… 前半で試合終了(前半終了時で試合成立)

同点の場合、PK方式にて次回戦進出チームを決定

28≦WBGT<31… クーリングブレイク設定 ⇒ 後半開始

25≦WBGT<28… 飲水タイム設定 ⇒ 後半開始

④後半試合終了5分前、(延長戦コート入れ替え時)に計測

→ 運営担当者、審判団で共有、31 を上回る場合両チーム指導者にも共有

31≦WBGT… 決しない場合、延長(再延長)は行わず、PK方式にて次回戦進出チームを決定

◇ 大会期間中に全ての試合ができない場合

・残された試合が決勝戦のみ… 両校優勝とする

・複数試合が残されている場合… 抽選を行う (この場合、優勝校は無し)

◇ 延期・試合未消化などの場合の対処については、落雷等の場合にも同様のものとする。